



森のなかま

2015年7月号

NO. 87号 (継続232号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

平成27年度 かながわ森林インストラクターの会 通常総会開催
新役員による会活動が始動！！

< 新理事 福島 正治 11期 >

平成27年6月14日(日)、特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会通常総会が総勢 203名(委任状を含む)の参加を得て開催されました。総会会場は昨年に引き続き「ユニコムプラザさがみはら」セミナールーム2。運営も2部構成で行い第1部は森本正信氏(5期)の議事進行により、久保重明現理事長(8期)挨拶で始まり、来賓ご挨拶を頂いた後、議長内野ミドリ氏(9期)、書記水口俊則氏(9期)を選出し第1号総会議案から議事に入りました。

又本総会にお忙しい中ご臨席頂きました(神奈川県環境農政局水緑部水源環境保全企画担当)課長斉藤俊一様、(同)主事星台司様、(公益財団法人かながわトラストみどり財団みどり森林課)課長内海規様には厚く御礼申し上げます。



会場全景

○今年の活動に当たり会が掲げた方針は、

- 1、県民参加の森林づくり活動や森林再生パートナー企業の活動を積極的に支援すると共に参加者から信頼される指導者の育成を目指す。
- 2、県行政およびその関連機関と更なる連携をはかり、水源環境の保全・再生に努めると共に、その啓発活動に積極的に参加する。
- 3、財政基盤の充実を図る。
- 4、会の活動情報を積極的に外部に発信する。

の4項目。これらの方針は各部・各部会の活動にリンクし会活動の前進が図られつつあります。今後のさらなる成果が期待されます。

○ また、新役員(理事12名、監事2名)の選任が行われました。

議事終了後「平成26年度ネットワーク活動大賞」の表彰が行われました。
共に活動回数37回の伊藤恭造氏(7期)小野幸広氏(7期)です。(当日は両氏とも不在)

第2部に入り、現在は長野県伊那市にお住いの稲辺謙次郎氏(5期)
にお出で頂き「桜守って何」の講演を頂きました。楽しく拝聴させて頂く
と共に、遠方よりお越しありがとうございました。

桜守の稲辺氏の講演



総会に参加された皆様、運営にご協力頂きました皆様に御礼申し上げながら、
通常総会報告とさせていただきます。

★ 新役員の方々

理事11名 + (欠席1名)

監事2名



(写真撮影:
湯浅氏⑩、広報 松本)

 かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。



やどりき事業部会「水生生物自主研修会」が開催されました。
5月10日(日)、晴れ曇り、場所:やどりき水源林(寄沢)、参加者15名

①9:30~10:00 準備・説明



③10:40~12:00
テーブルで観察・同定・説明



④12:45~14:30
座学(管理棟の2階)



②10:00~10:40 沢に入り採集



此の日採集され、めだったもの
魚のカジカ 蛙のカジカ ザザムシ(ヒゲナワトビケラ)



参加者：井出①、菊地①、竹島③、落合③、宮本④、愛木⑦、白畑⑦、村井⑨、
杉崎⑩、松本⑪、赤崎⑫、小川⑬、菌田⑬、宇田川⑬、江上⑬

平成27年度 森林部会親睦林業見学会

「川又林業(当インストラクターの会6期生 川又社長)とその周辺施設」

5月30日(土)～5月31日(日)、晴れ曇り、場所:岩手県盛岡市および雫石町、参加者16名

< 記 齊藤 夏葉 13期 >

一泊二日の、岩手県盛岡市の(有)川又林業林地及び周辺施設見学会です。同林地にメイプルシロップを採るためにイタヤカエデを植樹して今年で10年目の節目を迎えるのを記念して植樹会を行いました。

初日は10時に盛岡駅に集合、インストラクター6期(有)川又林業の川又正人代表取締役にお出迎えいただき、参加者16名はレンタカー2台に分乗して出発です。



手で見る博物館を解説する
川又氏(右)

最初に訪れた視覚障害者のための手で見る博物館では、川又若菜館長から博物館の概要などをご説明いただいたあと、アイマスクをつけて展示品に触る体験もしました。

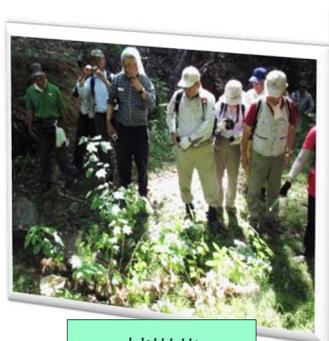
次に川又林業の山地を見学、ハルゼミのにぎやかな鳴き声とハクウンボク、カンボクの白い花に出迎えられシイタケの栽培地まで歩いて行き、そこで地元野菜を使ったお弁当とミントティーをいただきました。昼食の後は、シイタケの栽培法、原木生産時の集材・搬出における効率化・省力化の取り組みの講義をして頂き、参加者全員が真剣に耳を傾けました。



手で見る博物館で記念撮影



森の中での講義



植樹苗



植樹風景

その後、10周年記念の植樹会ではイタヤカエデ、トチノキ、ミツデカエデを植樹しました。コンテナ苗を使った最先端の植樹方法についてもご説明を頂いた後は、林地で取れたメイプルサップをご馳走になり、そのやさしい甘みに全員が笑顔になりました。

山林を後にし、盛岡手づくり村を一時間程見学後、本日の宿「御所湖温泉花の湯」にて入浴。夕食兼懇親会には川又代表取締役にもご出席いただき、今回の親睦会リーダー飯澤インストラクターのオカリナ演奏に合わせて全員で「北国の春」を歌いました。

二日目は9時ごろには宿を出発し小岩井農場へ。ガイド付きバスツアーの前後は自由行動で昼食や散策など各自農場を楽しみました。15時30分には盛岡駅で解散し、楽しかった親睦会はあっという間に終わってしまいました。

たくさん学び、参加者の親睦も深まった充実の二日間でした。今回の見学会で学んだことを今後の活動につなげていきたいと思います。

参加者：佐藤⑤、滝澤⑤、友谷①、武者⑦、飯澤⑨、内野⑨、水津⑨、辻村⑨、酒井⑩、石川⑫、永松⑫、大原⑫、古舘⑬、水上⑬、真部⑬、齊藤⑬

<写真提供：飯澤恒 氏>



岩手山を背景に小岩井農場で
記念撮影

自然観察部会 第80回森林探検訪「新緑の弘法山を満喫」

5月16日(土)8:30~15:00、雨のち曇り、参加者51名

<自然観察部会

小池 哉 12期>



「分け入っても分け入っても青い山」種田山頭火の句がある。句の詳しい解釈は抜きにして、言葉通りに新緑に包まれた登山道を歩く、そんなイメージを抱いて「第80回森林探訪 新緑の弘法山を満喫」の資料を用意した。

しかし、未明から降り出した雨は、集合時間が近づくにしたがって雨脚が強まってきた。キャンセルが増えることを心配していたが、51名の方が集まってくださった。

いざ 出発！

コースは秦野駅を出発して、浅間山、権現山、弘法山を登り、善波峠から吾妻山を通過して鶴巻温泉に下山するという、ハイカーに親しまれている“ミニ縦走ルート”である。登山口から浅間山までは一気に高度を稼ぐためやや急な登山ではあるが、それ以降はほぼ平坦で歩きやすく、じっくりと観察することができる。参加者には十分満足してもらえるコースである。

踏査と2回の下見では、ホタルカズラ、キンラン、ハンショウヅル、オオバウマノズクサ、タツナミソウ、コゴメウツギなどが山を彩っていたが、今日は何が迎えてくれるであろうか。

資料では新緑にちなんで緑色の効用や日本の伝統色、植物の和名などのほか、秦野たばこと里山林について記載した。

インストラクターは資料をベースに各々自分なりの方法で参加者に説明をし、参加者はインストラクターの言葉に耳を傾けて真剣にメモをとったりしていた。



説明と観察



今回はチーフリーダーとしての“デビュー戦”であり、今までとは違う視点で「森林探訪」を見ることができた。反省点や改善点など自分なりに考えるものがあったが、何よりも参加者が満足してくださったことでホッと胸を撫で下ろすことができた。そして、今回初めて参加してくれた友人から、「とても楽しくてためになったよ。また参加しますね」という言葉をかけられた。本当に嬉しかった――。

スタッフ

(公財)かみながわトラストみどり財団：坂下様、内藤様 看護師 小林様
 インストラクター：L小池⑫、野田⑧、内野⑨、小林⑩、杉崎⑩、大塚⑪、松永⑪、赤崎⑫、永松⑫、長尾⑬、松石⑬、真部⑬

活動短信



鼈始鳴 (5/5~5/9)
(かわずはじめてなく)
第十九候 立夏 初候

蚕起食桑 (5/21~5/25)
(かこおきてくわをはむ)
第二十二候 小満 初候

今回の掲載は5/8~5/23です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

◆ 都立桜町高校による奉仕活動 (ドウダンツツジ植樹)

日 5月8日(金)13:00~15:00、晴れ

場 鳥居原園地

参 高校1年生314名、教師16名、
あつぎ観光ボランティアガイド8名、農協観光2名

スタッフ 宮が瀬ダム周辺振興財団 柳川様、他 5名

イ L小野⑦、海野⑩、大原⑬ 小川⑬ 星野⑬

宮が瀬ダムを望む緑豊かな高台に、桜町高校一年生の皆さんがあつぎ観光ボランティアガイドの皆さんと共に来場しました。自然に親しみ、育てるという奉仕活動を桜町高校では、7年に渡り、行っています。

開校挨拶では、代表生徒さんより自然について考えたことの抱負を述べられ、続いて、柳川様より、財団では地域の振興、水源環境の理解を深める活動を続けられていること、今日の活動においてこの公園の魅力増進への協力と、よい思い出づくりとなるよう、そして数年後に友人や家族を連れていらしてほしいと、お話がありました。

植樹は、リーダーに手順を伝え、リーダーから班員へ植樹方法を教え、作業に取り組むスタイルで進みました。「穴の大きさはこれでいいですか。」「すぐ抜けてしまうから、もう一度植え直してください。」・・・このようなやりとりを交しながら、しっかりと植え付けをしていただきました。

気持ちよく汗を流し、スコップを持つという日常では、味わえない経験をさせていただきました。

(記 星野 澄佳 13期)

◆ 県立21世紀の森主催 春の野鳥観察

日 5月9日(土)9:00~14:00、曇り時々小雨

場 県立21世紀の森 天然の森コース

参 大人5名(男性4名、女性1名)

スタッフ 県立21世紀の森 統括 志鷹様、担当 分島様

イ L高橋③

下見の折りの打ち合わせで決めた通り、高橋が用意した

資料で、約20分、野鳥観察の心得やマナー、野鳥の見方等のレクチャーを、“森林ふれあい館”で行って、天然の森コースに出た。

時々、細かい雨のパラつく天候からか、クロツグミ、ウグイス、キビタキ、アオバト、アオゲラ、イカル、オオルリ、ガビチョウなどの囀り声は多かったが姿を見る事はできなかった。メジロ、シジュウカラ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、ヒヨドリ、ホオジロ等は姿も見られたが、フィールドスコープ(望遠鏡)で、じっくりと観察できたのはホオジロのみだった。

朝、挨拶、オリエンテーション、レクチャーを行った「森林ふれあい館」に戻り昼食。午後はどんぐりコースから、金太郎コースへショートカットをして、「森林館」の裏で今日見聞きした野鳥の確認 - 日本野鳥の会で必ず行う“鳥合わせ” - を済ませた。

時間に余裕があった為に、森林館の教室で高橋が持参した野鳥のビデオ(美しき歌い手たち NHK)を鑑賞して貰い、今日のイベントは事故も無くお開きとなった。

参加者は5名と少なかったが、“バーディングは少人数がベスト”を地でゆく事は出来たけど、見聞きできた野鳥の数が少なかったのは残念だった。

(記 高橋 恒通 3期)

◆ 富士通FIP(エフ・アイ・ピー)株式会社
間伐体験、自然観察(水生生物観察)

日 5月9日(土)10:00~13:30、曇り

○ 間伐体験

場 富士通 FIP の森 山北町世附字日影山 826-11

参 大人47名(男性37名 女性7名 事務局3名)

県 神奈川県自然環境保全センター 増田様 坂井様

イ L小沢⑨、小野⑦、伊藤⑦、村井⑨、西出⑫、小川⑬

薄曇りのなか、自然観察メンバーを含めた全員が元気に間伐体験フィールド前に集合された。取締役会長浜野様のご挨拶に続き、神奈川県自然環境保全センターの増田様のご挨拶があった。インストラクターの挨拶のあと五班に分かれて記念写真を撮り、作業現場へ向かった。

間伐体験のある方が1名おられたが、その他の方は初めてとのことであった。開始前のレクチャーで間伐の必要性・選木方法・間伐作業の進め方・伐倒場所の障害物撤去の必要性等を説明して実践に移った。その時の真剣に耳を傾けた姿が印象に残っている。

今回は杉を2本伐倒目標とし、伐倒方向を充分に見極め

て、足元の整理のあとに受け口・追い口を交代で伐り、1本目はほぼ予定した方向に伐倒完了。皆さんで力を合わせて引いたロープで間伐材が地響きを立てて倒れた。その時の感動が伝わってきた。

2本目は掛かり木になってしまったが、ロープを引く方向を変えることにより無事に伐倒することが出来た。枝打ち、玉切りして整理をした。その時のチームワークの良さと積極的に行動する皆さんの姿が印象的であった。

最初に作業が終了したので、その場で腰をおろして、今日の間伐体験の感想などをお聞きした。そして神奈川県の水源林の話などをして終了とし下山をした。

作業中は雨にもならず怪我もなく無事に間伐体験を終えることが出来た。

(記 小川 和恵 13期)

○ 自然観察(水生生物観察)

場 西丹沢 玄倉～小菅沢

参 11名 (取締役会長 浜野様、顧問 宮司様、事務局3名様含む)

イ L 宮本④ 白畑⑦

間伐と自然観察とに分かれての活動だが、一旦富士通FIPの森前に集合し、挨拶と写真撮影の後、小菅沢へ向かう。バスを降りた所でボードと書き込み用のチェックシート、水生生物のレシピなど銘々にお渡しすると早くも水生昆虫に思いを馳せられてか？皆さんの盛り上がりは意気込みそのもの！ 11時に出発する。

ゆるやかに登る道の両側の植物を観察しながら会話を弾みゆつくと歩を進める。河原に着きアミの使い方など説明し、早速採集を始める。カワゲラ、ガガンボなど大きなものから動きの速いカゲロウ、ふ化したばかりかと思われるカジカの幼魚や元気なカジカガエルなども見つかる。

“早く見たい”が、なかなか見つからないプラナリアに出会えたのは暫くしてからだった。ルーペでとくとご対面。これで小菅沢の水が「きれいな水」で有ることを確認することが出来、皆さん、今日の成果に満足して頂けたでしょうか？予定したタイムスケジュールよりやや早めに駐車場へ帰着。余裕を持って終了する。

(記 白畑 まどか 7期)

◆ 鶴岡八幡宮・槐の会 森林活動

日 5月10日(日)8:30～15:00、晴れ

場 やどりき水源林フィールド

参 槐の会 58名

スタッフ 槐の会事務局 6名

県 十鳥様、武田様

イ L 草野⑧、谷津⑦、若林⑦、小沢⑨、高橋⑨、時田⑩、宮下⑩、真貝⑩、福島⑩、山下⑩、吉田⑩

心配された天気も快晴に恵まれ、新緑に映えるフジ・ニセアカシヤの花に囲まれながらの爽やかな活動日和となりました。インストラクターは8時30分には現地入り、ミーティングのあと準備開始。参加者は鎌倉・藤沢からのバス、乗用車などで現地入り、関係者の挨拶の後、恒例のストレッチで心身をほぐし、10時半には予定通り活動開始。

(午前) ①間伐班(2班)はインストラクターによる説明の後、間伐作業開始。間伐木2本とも、予定方向にドスンと地響きをたてて倒れ、参加者も思わずヤッターと感激。更に、玉切りした間伐木を延寿の森まで2往復の運搬で、疲労困憊の様子でした。②杭づくり・経路補修班(3班)は間伐木の先端部分を利用した杭づくりと経路補修を実施。岩石と木の根に苦しみながらのハードな活動になりましたが、従来とは違って、達成感を十分味わっていただきました。

(午後) ①木工クラフト(2班)ヒノキの角材を使い、どんぐりなどの装飾を施した「メモ立て」を作成。それぞれの創意工夫により、可愛く綺麗に仕上がりました。最後は全員の作品を前に記念撮影。②癒し散策班(4班)は癒しの森でのハンモック、延寿の森での樹冠の揺らぎ等で、午前中の活動による疲れをとり、森林環境を利用した心身の癒しを感じながらの散策となりました。

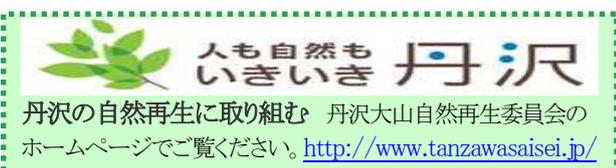
前回までの活動と異なり、ハードな活動になりましたが、新緑に彩られた森林のなかで参加者にご満足頂き、事故もなく無事に活動を終えることができました。

(記 若林 良子 7期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>



◆ 株式会社メタルワン 環境保全活動 (植樹)

日 5月16日(土)9:30~14:30、曇り
 場 神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬(宮ヶ瀬湖畔園地)
 参 社員・家族93名(大人81名、子供12名)
 スタッフ (公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団施設課
 柳川様 他9名

イ L小野⑦、渡部⑦、海野⑩、大原⑬

天気予報では雨模様でしたが、幸い降られることもなく予定通りにイベントを終えることが出来ました。開会式での(株)メタルワンの戸出社長、(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の森田理事長の挨拶の後、参加者全員で、ヤマモミジ50本、ラップスイセン・ニホンスイセン1200株を園地の指定場所に植栽しました。植栽は初めてで、スコップ等の使用が初めてという方、慣れていない方、子供達も、一生懸命に植えつけました。

限られた時間でしたが、皆さん無事にほぼ予定通りの植えつけを終えることができました。(株)メタルワンは設立以来、環境ボランティアに取り組んでおり、宮ヶ瀬湖畔園地での環境ボランティア企画は、今回で11回目とのことです。参加者の皆さんは、久しぶりに山に入り自然と触れ合い充実した一日となったことと思います。また、植えつけ作業の合間に、鳴き声が聞こえた夏鳥ホトトギス、外来種ガビチョウ、花が目を惹いたホオノキ等も印象に残ったことと思います。

(記 大原 正志 13期)

◆ 持田製薬株式会社 森林育成ボランティア活動

日 5月23日(土)13:00~14:30、晴れ
 場 塚原ボランティアフィールド
 参 持田社長他 計20名
 県 亀田課長、増田様
 イ L村井⑨、渡辺③、山崎⑦、小沢⑨

昨年度計画した活動は雨天の為活動出来ず、今回の下草刈り作業が持田製薬(株)様としては、初めての(第1回目)の活動と成りました。ヘルメット、草刈り鎌、シャープナー等を倉庫より持ち出しお待ちした。13時に到着されて活動前に参加者の皆様のヤルズの意気込みを込めた記念写真を塚原ボランティアフィールドの持田製薬(株)様の看板の前でパチリ!

上脇様の進行によりオリエンテーリング開始、自環保の亀田課長による水源林の大切さやパートナー様の活動

等の話をして頂き、インストラクターの紹介、準備運動、参加者全員がヘルメット、下草刈り鎌を持ち本日の作業場へ出発。4班に分かれ現地にて下草刈りの作業基準や注意事項を各班リーダーが説明させて頂き作業開始、下草は5月の事も有り草丈は余り長くなく初活動の場所で気持ちの良い汗をかいて頂くにはベストのコンディションでした。

展望が良く前方に丹沢山塊の大山を望み、さらにその下には足柄の街並みが望めて、快晴の中、約1時間の作業を無事終了。下刈り作業が済んで綺麗に成った斜面をご確認頂き気持ちの良い空気を吸いながら全員の記念写真。スタート時の場所に戻りシャープナーで鎌の手入れをして、持田社長のご感想等を頂き次回にお会いする事を約し散会した。参加された皆様満足をされた1日でした。

(記、小沢 章男 9期)



持田製薬(株)「森林育成ボランティア活動」平成27年(2015)5月23日 南足柄市塚原ボランティアフィールド

写真御提供 総務部 総務 専任副部長 上脇 貴 様

投稿概略フォーマットと略語の説明
 ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)
 場 場所
 参 参加者
 県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)
 ⇒6/1以降 (神奈川県 環境農政局 水・緑部
 水源環境保全課 水源の森林推進グループ)

財((公財)かながわトラスみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
 例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研 研修梓
 (以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)
 リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。
 活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

森のめぐみの掲載は、
 今月号はありません。
 次掲載は8月号です。

森のめぐみ シーズ

やどりき水源林 ミニガイド

6月のトピックス

川が綺麗なので超綺麗な水質のパロメーターのカジカが見られました。



7月の水源林

暑い夏。綺麗な森や川があるやどりきに涼みにおいでください。上記のカジカもお待ちしております。

「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラスのみどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「やどりき水源林のつどい」が開催

参加者募集! 夏休みの思い出を水源林で!!
開催日: 平成27年8月15日(土)
場所: やどりき水源林(足柄上郡松田町寄)
やどりき水源林まで新松田駅から専用バスで送迎
9時集合
参加費: 500円(中学生まで無料)送迎バス受付時支払
申込方法: 8月1日(土)までに**イベント申込フォーム**
(Ctrlキーを押しながらクリックすると開きます)。
/メール/FAX/はがきにてお申し込みください。
(行事名、住所、電話番号、参加者全員の氏名を記入)のうえ、(公財)かながわトラスのみどり財団
横浜市西区岡野 2-12-20 Tel045-412-2255 まで



◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ> 松本 保 (Eメールアドレス変更)

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel: 090-7962-3168
<電子配信担当> 赤崎 さほり
Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp
Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保 (Eメールアドレス変更)
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先: 090-7962-3168
Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871
小田原市下堀 123
Tel/Fax: 0465-42-7240
Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp
【CCで】新事務局長は調整中

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★水無月はいつも、果実酒づくり。今年は梅酒とブラックベリー酒。ヤマモモ酒も以外と美味。夏になったら、赤ワインでサングリアをつくります♪(▽)

(大塚)

★遂にクロスバイクを入手。当初の計画にはなかったMIYATAにて。まだ慣れません。

(赤崎)

★我が家の月下美人の蕾の赤ちゃんが今年も顔を出しました。手塩にかけて!! 育てます。

(小川)

★いよいよ梅雨本番 先日の雨の観察会ではヤマヒルの攻勢に合い、本来の観察どころではありませんでした。

(水口)

★先日、NW活動の下見で愛川町の中津川に行ってきました。小さいころ泳いだり、魚を突いたりした田舎に少し似ている所があり、心に癒しをもらいました。

(松本)

◆広報部所属で数年関わっておりまして小沢さんが本年度より総務部長となりましたので兼務していた広報部所属より離れます。これからも広報部は何かとお世話になりますのでよろしくお祈りします。

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。
振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 調整中
広報部: 水口俊則 徳岡達郎
大塚晴子 赤崎さほり
小池 哉 小川和恵 菌田栄哉
支援 伊藤恭造

南足柄市 金太郎が産湯を使ったと伝えられる「夕日の滝」で、夏の訪れを告げる夕日の滝開きが開催されます。



お問い合わせ先:
南足柄市産業振興課 商工観光班
TEL.0465-73-8031
http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/msec/index.php?msection_id=59

交通案内: 伊豆箱根鉄道大雄山線
「大雄山」駅下車→箱根登山バス「地蔵堂」行き「地蔵堂」下車→徒歩約15分